

全 糖類試法(其二) 量
全 炭酸瓦斯ノ一定量

全 (其二)
全 ストローフノ經濟

蔗糖ハ酸ヲ加ヘテ煮ル時ニ
其甘サヲ如何ニ變スヘキカ

米につきて
鯉節につきて

全 西館とお
全 岸高千代
全 加茂つや

全 丸野キ
全 尾崎キ
全 伊藤カネ

全 堀川いさる
全 堀川いさる
全 堀川いさる

全 林つや
全 林つや
全 林つや

目次

學術談話會技藝科部會報 第六號

學術談話會技藝科部會報 第六號

歐米女子理化教育に關する視察談 (文責在筆者)

理學博士 龜 高德

只今近藤教授から紹介して下さつた通り、歐米女子理化教育に關する視察談を御話しやうと思ひます。なほそれに續いて、一般の女子教育の大略も附加へて見やうと思ひます。まづ私がやはり通つた順序にはなしたいと思ひます。
瑞西のチュリツピの高等工藝學校に一年ほど居りました、其處は後は山で前が湖で、大變に風景のよい町でありました。
此の工藝學校は、我國の大學の工科にあたるものでありまして、其處へは女子の學生も通つて居ります、然し化學の方には甚だ少數で、二三名に過ぎません。そして専門にそれを勉強して、試験を受けてドクトルになる女もありませんが、又中に結婚すればやめてしまふものもあります。なほチュリツピにある大學の醫科の方には、女學生が甚だ多くありますが、主としてロシアの方からきてゐるのが多くて、中には男生化してしまつて、女で髭のあるものもありますほど、既に外見に於てさへ男子と異らないのであります。

又此の町の高等女學校を參觀した事もあります、これは我高等女學校よりは稍程度の高いもので其の中には師範部もあり、商業部もあり、またなほ大學の豫備となる部もあります。是等も參觀しましたが、化學の教授はよほど實際的でありましたし、中でも最も著しく感じましたのは、女子が各國の語に通じて居るといふ事であり、尤も瑞西は歐洲の公園地で、夏は各國から來る遊覧人が非常に多い、それで是等を相手とする職業が多い故に、高等女學校の商業部を卒業したものが多くその賣り子となる様な次第で、尠くとも國語の五ツ六ツを知らなければならぬのであります。しかしそれは、日本人が習ふ如く困難を感じないで學ぶのであります。

次に私は獨逸のベルリンに參りました。ベルリンでは女子の化學の學生は居りません、一体に理科の志望者は女子には少ないやうであります、但し文科や醫科には女子の學生が見えます、ベルリンに居る間には多くの學校を參觀いたしました、女子の學校では、高等女學校を一つ參觀しました。此の高等女學校は、小學校から續いて居るもので、修業年限が皆で十年位であります。こゝでも物理化學を參觀いたしました、其の時地理を參觀いたしましたら、其地理の先生が、よい標本が來たといふ様な具合で、早速その教授を日本の事に轉じて、自分を利用して日本の雨量の氣候だの、事を話しました。なほ委しい事は省いて、次にベルリンを出て英國に行きました英國では女子に大學へ入學する事を許したのは獨逸よりも早いのであります、それで女子の大學

生も甚だ多く、化學をなすものも從つて多い、夫等の女學生は、多くは給費生であります。處が話にきけば、給費せられても卒業後教師する者少く又義務といふ事もなく、至つて自由であるのが爲めに多少の批難があるのであります、其大學の化學の教師の一人が家政化學の實驗室を設けて、飲食物の實驗や衛生化學の實驗をして居りました。

當時ロンドンには一大家政大學をつくるといふ計畫がありました、多分今頃は出來て居ります、せう、とにかく女子の家事に就ては、未だ十分の發達をして居りませんでした。それから米國へまゐりますと、萬事進歩主義である故、新しい事をするのは非常に早い、コロンビア大學を參觀しました時、チーチャスカレージ即ち日本の男女兩高等師範に相當する學校があります、その中に家事館といふものが出來て居ります。これは一九〇九年九月に出來たのでまだ新しい事であり、今から四年前九十萬圓の費用を投じていたしましたさうであります。家事に關する一切の教室がありました、即ち洗濯教室、家事に關する圖書室、食物料理室、實驗的料理室、食堂、裁縫室、家庭化學室、生理化學室、家事室、圖書室、纖維教室、經濟教室、滋養品研究室など色々のものがあります。そこには一人の女教師が居りました、又女子の研究生もありまして、シャボンの脂肪量を實驗して居りました、萬事なか／＼新式に出來て居て、歐洲でもこれに及ばない様に見えます。歐洲では家政に關するもので、これほど大きくなつて居るのは

聞きませんでした、其ポルターといふ教師は、家政化學を自分で著した家庭化學實驗書に依つて教授して居りました即ち燃料、水合金、硝子、陶器、食物、牛乳、茶、珈琲、チョコレート等に就て實驗させて居りました。此人は又衛生技師で飲食物鑑定技師となつて居る人であり、又家事館の中で保母看護婦養成も致します、其等の講習員もやはり化學の實驗をして居りました、是の學校が家事に關する學校としては最も完全なものでありました。

シカゴ大學に行つて見るとやはり教員養成所がありまして、其處で男女の教員を養成して居りました、その博物教室で一人の教員がクック鳥を剝製して居りました、それから体操を參觀しましたが男女兒をませて廣場でダンスをして居りました。

米國は手工がなかく盛んでありまして、男女兒共に課して居ります、十五六頃より木工を初めて鉋を上手に使つて居りました。教師も男女がをりまして非常に活動して居りました、とても日本の女にはやれさうありません、金工もして居りましたが然し女子には金工まではやらせません。スキツツルのストツクホルムは手工裁縫が盛んでありまして男兒にも裁縫を課して居る様な風であります。

それからシャートルに行きました。此處はアメリカの西の入口で日本人が非常に多かつた、此處ではハイスクールを參觀しました、これは中學校と高等學校とを兼ねたものであります。女も入

學して居りまして、男と一所に物理の實驗をして居りましたのを見ましたが、十七八位の學生が盛に實驗を致して居りました、女子の實驗について聞きました處、綿密でありますから、測定などの實驗は却つて女の方がよいと云ふ事でありました。

化學の教師は四十歳餘の女教師でありました、此先生の授業を見ました處、男子の盛なものも、此女の教師に教はつて居りました。あまり新式ではないけれども生徒六七百のものが只此女の先生一人に化學を教はつて居りました。

そこで私が獨逸の方を経て來たと云ふ話を致しましたら、獨逸にも矢張り女の先生があるか、此方では化學の教師などは殆ど女教師であると話して居りました、かう云ふ様な風で、シャートルから船に乗つていよく日本へ歸りました。先づ通つた處で女子に關する化學の視察はざつと右の様な次第で御座います。

米國では、小學校の先生には女が最も多くあります、獨逸の方では、小學校の方にはかなり女教師も御座いますが、中學程度の學校ではあまりありません、然し語學の教師としては女が大層多い様に思ひました、私が始めてチユリツヒに參りました時にも、獨逸語を習つたのはやつぱり女の先生でありました、此女の語學の先生は、獨逸語、伊太利語、英語もよく致します、私も此先生にはよく會話で叱られたことが御座います。或日其人が私に向つて日本では雪を見たことがあ

りますかと云ひますから、私は日本は随分あつい所もあれば寒い所もあつて、雪を見ることはなかなか多くありますと申しましたら、其先生はそれでは日本はそんなに暑くないのに、なせあなたは顔が黒いのですかと申しました、それは私の色の黒いのは、日にやけた結果と思つて居たのであります。

次にまた先生をかへて、チユリツヒの中學校の英語の教師をして居る人につきましたが、之もやはり女の先生であります、此人の母は英國人である故に、英國に長い間滞在して居て、英語もまた達者である、故に日本人の此人について學ぶものは甚だ多くありました。

此様に女の人には語學の先生が多く御座いました。伯林に行つた時にも私の知つた人に二人の姉がありました、私が一日此家を訪問しました、其姉の二人は小學校の教師で其一人は繪かきでありまして、私を見てスケッチをしてやると云ひましたから、洋服の上に一枚の浴衣を着て、スケッチをしてもらひました、出來上つたのを見ると、少しも自分には似て居りませんでした、其家族の人々は、よく似て居るよく似て居ると云つて居りました。

終りに各國の婦人を比較して見ますれば。

獨逸の婦人は、勤勉で節儉であります、晚餐會などに招かれましても、話をしながら編物をする

と云ふ風で、公園等を散歩するときにも、編物をはなさないであります。

二十歳以下のものは殊に服裝が質素であります、女も男兒と同様の風を致して居ります、而も極めて活潑なのであります、私が下宿して居た家に十五六の娘が居ましたが、短い袴で活潑に運動を致して居りました、日本の女の十四五歳になれば立派なものを着て居るのは大に違つて居ります。それ故あちらでは(獨逸)二十歳以下乃至未婚の女子は、中性のものとして其冠詞にも女性のものを用ゐないので御座います、即ちダスマツチエン、又はダスフロイラインと云ふて物的代名詞の冠詞を用ゐて居ります。但し二十歳以上に達すれば中々立派な着用を用ゐ、結婚前後には大に着飾るものであります。

英國の婦人は獨逸人の如く愛嬌がないと云ひます、例へば汽車の中などで一所になつても、獨逸婦人は中々オシャベリで話をしかけますが、英國婦人は話しかけるなどのことは決してなく、一般につんと致して居ります、併し道でも尋ねると仲々丁寧によく教へて呉れます、英國の中等程度の婦人は平常はまことによく働きますが、日曜や祭日には立派な着用を着て、急に貴婦人になりますして會堂に參ります。又英國婦人が細かい所にまで氣をつけて居ると云ふことの一例は、私が英國に居たときに、下宿屋で或晩遅く歸つてランプに火をつけ様と思つて、マッチをさがしてもなかつたから、女中を呼んでマッチを持つてこさしました處が、いくらすつても火が出ませ

ん、あたりは暗くあるし火はつかず、誠に困りました、後でこれをよく見ると、其マッチはつかひがらを一々保存してあつたものでありましたのを、女中が知らずに持つて来たのであります。佛國の婦人は、巴里は流行の源と云ふ位で、随分着飾るが、一方には大に儉約して居ます。例へばあちらでは電車が二階になつて居りますが、其二階の方は二等席であつて、賃金もやすいのであります、そうして見て居ると、どんな婦人でも大がひ二階に乗ります、下の一等席に乗るのは老人か荷物を持つた人位のものであります。

米國の婦人は昔からの習慣もあり驕慢であります、然しこれは皮相の感かも知れませんが、亭主はボロを着て働いて居るが、其の婦人は着飾つて芝居でも見にゆくといふ風であります。故に結婚といふ問題は誠にむづかしいものであります、各國の婦人の様子は右の如くで御座います。

最後に私は近頃地方の女學校を參觀する機會を得て、方々の學校を參觀致しました、夫等の學校に於ても大抵物理化學を參觀いたしました、時間の都合の悪い所では他の學課も參觀いたしました、家事も多く見ましたが、家事はこの學校でも範圍が廣くて、やる人も困つて居る様であります。中には女學校で、家事を分けて理化に關するもの、生理衛生に關するものと云ふ風に分けて分擔して居りますものもあります。そして其の家事の主任を見ますに、大抵本校の卒業生であります。かく家事は廣い學科である爲めに、一人でする事は勿論むづかしいが、私等の方が

ら考へますと、今少し家事をする人は理化を委しくして貰いたい。

何故にかく申すかといふと、理窟がわかれば、其の事も覚え易く、又應用も廣くなるわけであるもし理窟を知らずに方法をのみ知つたのでは、餘程効が少ないのでありますから理化を基礎として家事を教へたならばと存じます、尙今日の所では、此事がまだ出来ない様に存じます。それについては此處に獨逸の料理の本がありますが、これを讀んで見ると、料理をするについての實習と其理論とが説いてあります、理窟を知らずにやる事は暗夜に途を行くが如くで甚だ危険なことであります。

尙一つ地方で聞いた事は、凡て技術の練習を要するものは、習ふに大變骨が折れます、それでこれは餘程熟達してゐる必要があるものであります。私は或る校で聞きました、それは或家事の先生（即ち本校の卒業生）がやめたので其の後に女子大學の卒業生を迎へた處が、大變に實習の經驗があつて、生徒も校長も誠に喜んでゐるといふ事でありました、これは或はその人によるかも知れませんが、なるべく實地の練習を多くして置く必要があります、然し理窟を知る必要は前述の通りであります。

今一つ英國の或る婦人雜誌を持つてまゐりました、今日日本でも、婦人雜誌は澤山ありますが千篇一律で、實用向のものは少い様であります、然し此の雜誌は、裁縫の事とか其の他大に實際的

學理的のものでありまして、其の様子が大に日本の女子の雑誌とは變つて居ります、之は御希望の方がありますれば置いて参りますから、ゆる／＼御覽を願ひます。

邦畫に及ぼせし洋畫の感化

澤村 專 太郎

技藝科會が開かれるから何か話せとの事でありましたか、然し格別面白い話がありませんねから洋畫が日本に入つて來てそれと同時に日本畫が如何なる影響を受けたかについてお話ししてみませう皆様は西洋畫の輸入と云へば直ぐに日本と西洋との交通をお思ひになるでせう。即ち十五世紀から凡三百年位の間に西歐諸國は續々日本に來ましたが、その中の宣教師が耶蘇教をひろめる傍ら繪畫を教へました。けれども其等の宣教師の中には國家に對して面白からぬ考を持つ者などがあつた爲に、時の政治家は之等に向つて壓迫を加へました。それで其反動として起つたのが彼の有名な島原の亂であります。即ち一千六百三十七年から八年にかけて戰つたのですが、彼我交通の斷絶は之れに依て一層嚴重になつたのであります。其後は只和蘭と清との二國の外交通しませんでした。外來の洋畫については此處を分岐點として時期が作られます。即ち十五世紀の半ばから二百年の間は洋畫が我國に傳はつた第一期であります。十八世紀の半に至り日本人が他學の進歩

につれて大なる不便を感じ、西洋の文物知識を吸収せんとする熱望の爲に、精神的に學問を研究し、之と同時に又再び西洋畫が入つて來ました。即ち十七世紀中頃以後明治の初年までが第二期で即ち島原の亂前後に分つことが出来るのであります。

第一期に於て日本人が如何にして洋畫を學びしかといふに、耶蘇教師の中で繪の達者なものが之を傳へました。而し今日ではあまり其名が聞えて居ません。此時には洋畫を模様即ち美術工藝品として入つて來たが、又同時に宗教畫が入つて來たといふことは見逃すべからざることである。是れは如何にして知るかといふに、今日多少残つてゐる實物によつてのみならず、歴史上に於ても、例へば島原の亂では其最初に於て盛んに宗教畫を焼いたといふことが記されて居る。かくの如くして宗教畫を既に戰國時代以來徳川の始めにかけて、盛んに輸入せられたのであります。然らば如何なる人が此第一期の畫家として知られたかといふに、今日では澤山残らないが有名なものは先づ

山田右衛門作である。右衛門作は島原の亂の時には一方の旗頭となつた人である。然るに徳川方に内應したといふ事で城中にて牢に投せられてゐたが、亂が平ぐや助けられて江戸に來た。當時江戸には放火多く之を止めんとして種々の命令を出したけれども効なく、遂に右衛門作をして洋畫の法にて火附けが嚴刑に處せられて居るところの繪を畫かして、到るところに貼らしめたら